

令和3年度 葛が谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

葛が谷地域ケアプラザは、都田地区・荇田南地区・渋沢地区・ふれあいの丘地区・柚木荇田南地区の5地区を担当しています。地域では、コロナ禍によりこれまで通りの活動の継続は難しくなっていますが、住民同士のつながりが途切れないよう、感染症予防をしながら活動が再開されています。ケアプラザに寄せられる総合相談でも、外出自粛によるADLの低下が課題となっているため、職員が連携をし部門を越えて各地域に積極的に関わるとともに、5職種間で情報共有を密にし地域の方々と一緒に課題解決を図っていきます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ・地域の福祉活動者との関係性を築き情報共有することで、インフォーマルな視点からの支援にも着目し、一体的な支援につなげる。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ・より身近な場所での介護予防・社会参加の居場所づくりについて、アセスメントによりエリアを選定し住民とともに検討を進める。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ・地域のニーズを把握したうえで、課題解決に向けて連携できそうな企業や店舗に働きかけをしていく。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ・介護者のつどいを開催し、勉強だけではなくピアカウンセリングの場として介護の不安や負担を軽減する場所として年間10回開催する。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ・介護保険制度の専門職、地域の支援者との検討の場を設け、様々な支援を必要とする人々が社会参加しながら生活していける方法の検討する。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント